



1F エントランス・ホール

新・対山館サロン

「北アルプスの自然と人」にかかわるさまざまな情報を発信・交流するコーナーです。

山とわたしたちの未来

ご自身が今考える「60年後の山と人との未来に向けたメッセージ」をカードに書いて当館へお寄せください。

こどもひろば

大小のザックを背負って、山登りの気分を体験してみてください。

ホンダタヌキとニホンザルの剥製に触れて、毛の柔らかさを実感してください。

大町市のキャラクター「おおまびょん」といっしょに記念撮影をどうぞ。



大町市キャラクター
「おおまびょん」

ミュージアムカフェ・ショップ

北アルプスを眺めながらくつろげる喫茶と売店です。
ミュージアムカフェ・ショップのみのご利用もできます。



博物館附属施設

付属園（動植物園）

貴重な野生動植物を守って増やしたり、調査研究をしたりしながら、北アルプスの山麓から高山までの生きものを飼育・栽培しています。

また、さまざまな理由で野生では生活できない動物を保護し、野生復帰にも努めています。（入園無料）



山岳図書資料館

山岳に関する書籍などを収集保管し、資料の散逸や亡失を防ぐとともに、調査や教育普及にご利用いただき、山岳文化の継承と普及の推進を図っています。



ご案内

●交通

JR信濃大町駅から タクシー5分 徒歩25分
長野自動車道安曇野ICから約40分
北陸自動車道糸川ICから約95分
上信越自動車道長野ICから約80分



●開館時間

午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分までとなります。

●観覧料

大人 400円
高校生 300円
小・中学生 200円
(30名様以上の団体は各50円割引)
※そのほかの各種割引については窓口でお問合せください。

●休館日

月曜日、祝日の翌日
(月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館)
年末年始
※7月・8月は無休。

●駐車場

普通車30台 大型バス5台
※無料

大町山岳博物館のプロフィール

戦後間もない頃、稀に見るこの地の山岳環境と自然を見つめ直し、地域の文化を求める拠点をつくるため、この地の青年たちが立ち上がりました。地域住民の熱い支援を得て、「岳のまち・大町」にふさわしい日本初の山岳をテーマとする博物館が、1951(昭和26)年11月1日に誕生し、市民や地域住民からは「山博」(さんぱく)の愛称で親しまれてきました。

当館創立50周年を機に大町市では、2002(平成14)年に「山岳文化都市」を宣言しました。現在、当館はその中核的な施設として、活動を行っております。



〒398-0002 長野県大町市大町8056-1 TEL: 0261-22-0211 FAX: 0261-21-2133
E-mail: sanpaku@city.omachi.nagano.jp URL: <http://www.omachi-sanpaku.com>
市立大町山岳博物館の公式Webサイトは、山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

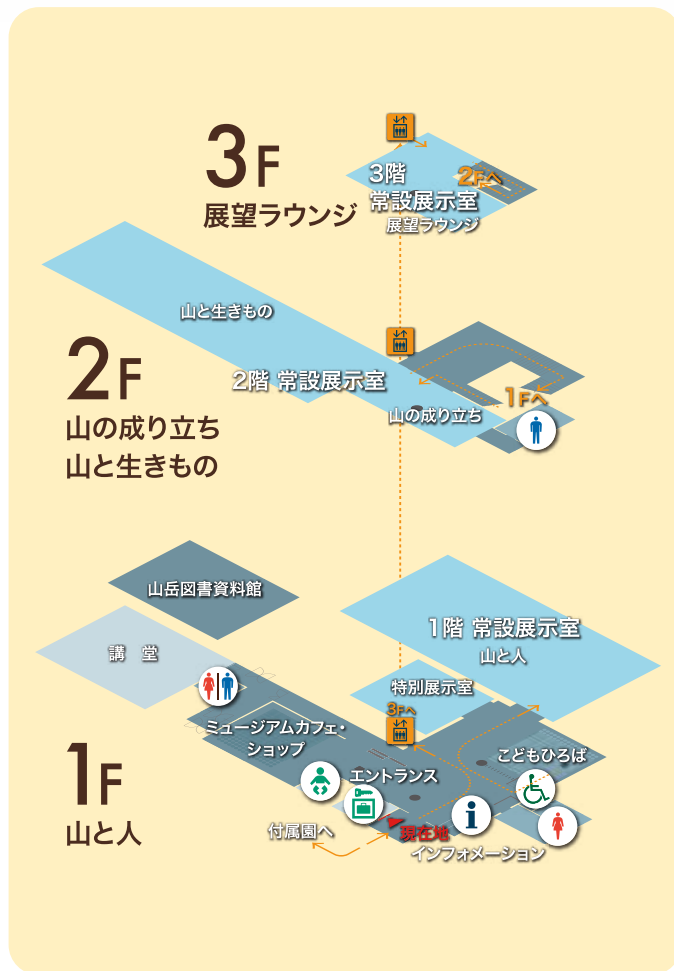
動物取扱業者登録 氏名又は名称: 大町市 年越徹 事業所の名称: 市立大町山岳博物館、事業所の所在地: 長野県大町市大町8056-1、動物取扱業の種別: 05、展示登録番号: 08000585号、登録年月日: 平成19年3月23日、有効期間の末日: 平成29年3月23日、動物取扱責任者: 佐藤真





大町公園から望む北アルプス

展示室のご案内



常設展のご案内

● メインテーマ「北アルプスの自然と人」●

3F 展望ラウンジ

ここからは北アルプス後立山連峰の展望をパノラマでご覧いただけます。

ぜひソファに腰かけてくつろぎながら、ゆったりと展望をお楽しみください。ここでは大町市や北アルプスの概要などを知っていただけます。あなたご自身と“山”とのつながりを感じてください。



2F 山の成り立ち

地球の誕生から現在までの気の遠くなるような時間の流れを、化石や岩石に触れて実感してください。

この地域の地質の特徴であるフォッサマグナ、北アルプスの成り立ちについては映像をご覧ください。



2F 山と生きもの

最終氷期を生き抜いてきた生きものの子孫が、この地域に息づいています。

大町市の市街地から高山にいたるまでの多様な環境にすむ生物をご紹介します。特に、山岳博物館の象徴ともいべきニホンカモシカとライチョウの生活史をご覧ください。



1F 山と人

人が北アルプスの山々と、先史時代以降、どのようなかわりをもって暮らして来たのかをさまざまな資料や大型映像でご紹介しています。

山麓に住む人々は、狩猟・漁労や森林資源などの採集によって、山からの恩恵を受けてきました。そうした山村での暮らしを伝える民具などをご覧ください。

日本の近代登山の幕開けから、ヒマラヤへの道までを通史的にとらえています。

山小屋内では、大沢小屋の変遷や山での生活を映像でご覧ください。

特別展示室

1F 山と美術

明治以降の山岳画家らが描いた山岳風景画と、美術品の域まで達した古典的なピクセルをご鑑賞ください。

※企画展の開催時はご覧いただくことができません。

